

# 顧客目線の懇切丁寧な提案で 住み良い家づくりをお手伝い



## 株式会社 リライトホーム

東京都豊島区西池袋 3-15-23-101

【事業内容】  
総合建築業／建物メンテナンス事業／保険工事



### Special Interview

住宅やマンションのリフォーム・リノベーションを中心に、建築事業を幅広く手掛けている『リライトホーム』。顧客の目線に立った提案力は評判で、口コミで知名度が上がっている。真摯に仕事に向き合う黒川社長のもと、タレントの松尾伴内氏が訪問。事業にける思いや特色を伺った。

#### 父親の影響から建築業界へ 自ら事業を起こす

—「リライトホーム」さんは、リフォームをメインに手掛ける建築会社だと伺っています。黒川社長は、どんな経緯で独立されたのですか。

父親がもともと建築業を営んでいて、私は家業に入る予定だったんです。それで高校卒業後、大手ハウスメーカーに営業として就職。業界の営業ノウハウを得て、父親を支えるつもりでした。しかし、5年ほど経験を積んでいざ家業

に入ろうという時、実は既に再起が難しいほどの経営難でした。残念ながら家業は畳むことになり、私は別の業界で仕事をしていたのですが、やはり父が事業を畳んだ時の気持ちが気になって……。この業界に戻ることを決意し、私なりのやり方で頑張ろうと、この『リライトホーム』を立ち上げました。

—それは、お父様もお気持ち嬉しいことでしょうか。ですが、同業他社も多い業界ですし競争は厳しいでしょう。

おっしゃる通りで、リフォーム会社は山のようにあります。そしてクライアン

ト様の要望は十人十色。その中でどのように業界を生き抜いていくか、自分なりのノウハウを見出しました。

—ほう、それが御社の特色ということになるのでしょうか。詳しくお聞かせ下さい。

お客様が最も気にされる要素の1つが、コストです。このコストをいかに企業努力で抑えるかが重要になるわけですが、当社では火災保険の適用を利用した工事を行うことができます。火災保険と聞くと、火事の際にしか利用できないと思っていられる方が多いでしょう。ですが、たとえば家具を動かした際に壁に傷がついた、といったケースでも適用される場合があります。保険適用されれば、当然お客様の金額負担は大きく減りますよね。そうすれば、予算内で別の工事の提案などもでき、より良い家に住んでいただくことにつながります。

—それはありがたいですね！ 火災保険の利用というのは初めて聞きました。

手続きなどが煩雑ですから、やりたがらない業者さんは多いです。また、そもそも知らない方も多いですが、私は自分なりにかなり勉強を重ねました。申請手続きは大変ですが、お客様に喜んでいただける仕事ができるなら、という思いで

すね。お陰様で、口コミなどで評判が高まり、お客様は徐々に増えています。

#### 周囲の様々な人のため 建築業者としてできることを

—それにしても、とても着眼点が良いですね。

もともと、つながりのある不動産会社さんが突発的な事故による工事費用の工面などに、困っていらっしゃったんです。そこで、なんとかか力になれないかと保険のシステムなどについて勉強していく中で、ビジネスチャンスを見出しました。リフォームがメインではありますが、内外装工事、水回りや空調の設備工事、塗装工事、防水工事、害虫駆除など、住宅関係の施工を幅広く手掛けていますよ。私自身は職人ではありませんから、交渉や折衝することが主な役割になります。

—お客様をはじめ、周囲の方々に対して誠実な商売をされている印象です。

ありがとうございます。それは、私共が最も大切にしていることの1つですね。お客様に満足していただきたいですし、そうした仕事をする事で、建築業界全体のイメージアップにもつながると信じています。当社は『工事金額適正化

推進協会』の会員にもなっています。「不適切な説明、不要な工事、不当な工事代金請求等により、施主が被る不利益を無くす」というのを目的とした協会です。中には不誠実な業者さんも存在すると聞きますから、業界全体のクリーン化を促しますから、業界全体のクリーン化を促して、お客様に満足していただくと共に、建築業者の地位向上に努めたいですね。

—それは、周囲からの信頼も厚いことでしょうか。ますます伸びていかれそうですね。

建築関係の施工は、お客様にとってはかなり高い買い物になります。ですから、この仕事をする上で誠実であることはマストだと考えています。今後もこの考えをもとに安心していただける仕事を貫き、さらに精進していくつもりです。ま

#### 代表取締役

## 黒川 仁

千葉県出身。建築会社を営む大工だった父親の姿を見て育つ。いずれ家業に入るつもりで大手ハウスメーカーの営業に修業に出たが、経営難で家業は畳むことに。その後、他の仕事を経験しながらも、父親の思いを継ぎたいと建築業での独立を決意。現在に至っている。

た、現在当社の社員が6名いますので、皆の生活を豊かにできる会社でありたいですね。頑張ってくれている皆がいてこそその事業ですし、協力業者を含めると当社に関わる人たちは100人規模です。皆への感謝を胸に、100年続く建築企業を目指します！

(取材／2020年6月)



### Column

もともと、黒川社長は業界のノウハウを身に付けた後、父親が営む建築業を支えたいと構えた。だが、不景気の煽りを受け、父親は事業を畳むという苦渋の決断を下した。当時の父親の気持ちを思い、いつか自分で建築会社を立ち上げて成功させたい、それが親孝行になるはずだ。社長はそんな風に思い続けてきたという。そしていざ独立をする際には、「これから自分でやっていくから」と父親に報告し、決意を表明。職人気質だという社長の父親は、感情の全てを表には出さなかった。う。だが、嬉しそうと応援したい気持ちでいっぱいだったに違いない。実は社長は、「リライトホーム」の設立前には、壁紙工事に特化した会社を立ち上げていた。そちらは事業が成功し、別の人に経営を譲ったという。そして今、社長は誠実な商売をモットーに、「リライトホーム」もどんと成長させている。建築業界で邁進を続ける姿は、何よりの親孝行になっているに違いない。



松尾 伴内

#### After the Interview

「黒川社長は、事業の特色についてなど、素人の私にも非常にわかりやすく丁寧にお話しして下さいました。その落ち着いた話し方や、相手に分かりやすいように言葉を選ぶ様子などから、お客様や取引先さんからの信頼を築いていらっしゃることは容易に想像できました。「この人なら安心してリフォームを頼める」、そう思える雰囲気をお持ちの方でしたね。100年企業という大きな目標を掲げていらっしゃいましたが、ぜひ実現していただきたいです」